鉺 一七九六 ナレ別路 昭和十三年公告第四〇六六號

三十五類 飛行機

特公出 許吿願 昭昭昭 和和和 和十三年十二月二十日和十三年 五月二十八日和十三年 五月二十八日

横 横 濱 濱 特發市發市 克 己

大正 臣治

म 動 操舵 小翼 力二 依 リ操作ナシ ענ

可動 ヲ突起セシメズシテ可動小翼效果ヲ充分ナラシ 舵力ヲ大小正負任意ニ決定シ得ルト共ニ翼外面ニ全然有害抵抗物 以テ關連セシメタルヲ特徴トスル任意操舵力ニ依り操作ナシ得 小翼及主翼ヲ二個ノ潛動軸及之等ヲ摺動ナシ得且該軸ニ作用スル 防止 小翼ニ係リ其ノ目的トスル所ハ可動小翼ノ使用目的 カラ要求操舵力及軌道反力ニ依り制御ナシ得ルニ 性質及目的ノ要領 ル可動小翼ヲ得ン 本發明へ副翼或へ補助翼等ノ如キ ŀ スル 三在 メ且「フラツター」 個 ニボジ操ル ラ軌 可 道

面 メタル場合ノ本發明ヲ副翼ニ裝備セシメタル一質施例ノ側面 軌道構成理論ヲ示ス一實施例ノ側面圖第三圖ハ操舵力ヲ零ナ ハ操作セル場合ノ副翼ノ位置ヲ示ス第四圖 圖、第一圖ハ本發明ヲ副翼ニ装備 八補助翼 t 三裝備 3 w

> Ł 桿生ヲ副翼B前緣附近ニ樞着シ該桿子ヲシテ圖示セザル操縱系 軸(タイタル)ヲ夫々摺動ナシ得ル二條ノ軌道タライタシリヲ副翼(ロ)ニ穿設シ作動 二關聯七 主翼(4二設ケラレタル支持腕(1)ニニ個ノ摺動軸(2)(2)ヲ固設シ該 要求セル任意操舵力ト操作角トノ關係曲線圖 ₹/ メタルモノナリ 實施例ノ側 本發明ヲ第一圖乃至第三圖ニ就 M 圖 ニシ ・テ第五 圖 ŧ 四圖實施 說明

操舵力1ノ大サト軌道の窓ノ形狀ノ關係ヲ第一圖ニ就キ説明セ 摺動軸空やリラ摺動セシメ所要副翼角ヲ形成セシム本發明ニ於 舵力ヲ與フルコト 決定セシモ 第三圖示ノ本發明ハ副翼国ノ操舵力ヲ零ナル ハ之ヲ零トセリ〕トハ釣合フモ 反力QR及作動桿④ニ作用セシムベキ 操舵力 f [第三圖示ニ ニ副翼(5)ニ作用スル空氣力Fハ軌道(5)(3)面ニ垂直 ノニシテ本發明ヲ實施センニハ作動桿④ニ僅 ニョリ副翼(日)ヲ後退セ ノニシテ 操舵力 fl ノ大サハ次ノ如 シメ卽チ軌道(タラヤタシ)ヲシテ 如ク軌道の変形状 ニ作用スル軌道 上少ナル ケ 操 ヲ

1 軌道反力Q及R ノ交點亞ヨリ空氣力F 及操舵力f 迄ノ 舵 v æ クシテ決定セラルルモノナリ 及hトシP點ニ對スル「モーメント」ノ釣合ヨリ操舵力fヲ求 力す及空氣力Fノ作ル三角形CDEノ頂點C 道形狀ヲ決定スル方法ハ第二圖示ノ如クニシテ與ヘラレ 1 軌 バ ナッ ニシラ②點ガ空氣力Fノ延長線上ニ在 道の(で)ノ傾斜ヲ僅カニ變化スル J—P3 **-**·逆ニ適當ナル操舵力f ヲ與 サナル 關係アルヲ知ルベシ ヘヘラレ コトニョリ任意ニ決定シ得 即チ操舵力イノ大小正 ルトキ操舵力よハ零ト 場合ニ於テ本發明 ŀ 第三邊ノ中央〇 垂直 タル

交點ハP)ナリP)點ニ對スルド及fニヨル「モーメント」ヲポムルニ ヲ證明センニ③及③ハ戸ヲ中心トスル圓弧ナルヲ以テ軌道反力ノ | 結プ直線②上ノ任意ノ點②ハ 條ノ軌道(o)(o)ハ與ヘラレタル操舵力f ヲ滿足スルモノナリ右 ラ即チ點Dヲ**中心トシ任意**ニ定メタル ۲ 1 닠 ナル ||摺動軸②②ラ通過ス 關係ヲ滿足ス מונ Æ

ニョu「モーメント」=Fl=2 \triangle PCD ョル「モーメント」=fh=2△PCE

三角形PCDノ面積ハ三角形PCE ヲ 知ル 他方巨ハ 三角形PCEノ中線叉上ニアル 面積ト 等シク 從ツテ = ŀ

Ħ म भ ナル關係ハ滿足セラル

軸②②/2)ノ選定ハ自由ナルヲ以テ使用目的ニ應ジ空氣力學的效果最 モ大ナル可動小翼ヲ限定セラレタル操舵力ノ範圍ニ於テ計畫シ得 線トシラポメ得ルト共ニ右作闘法ヨリ推シ得ルガ如ク卫點及摺動 如斯シテ各舵角ニ對スル作圖法ヲ行ヒ軌道⑤⑤ヲ小圓弧ノ連續曲 モノナリ

舵力曲線即チ補助翼ノ操舵力ヲ全體的ニ小トシ且左右ノ補助翼ガ 第四屬示ノ本發明ハ補助翼ニ装備セルモノニシテ第五屬ノ要求操 軌道ヲ與ヘタルモノ 手放時正常位置ニ自働的 ナリ ニ復歸スル如キ操舵力ヲ滿足セシムベ

依リ可動小翼ノ迎角變化ヲ惹起セシメザル構造ヲ保持 ヲ以テ「フラッター」ヲモ防止セシメ得ル效果アリ 外面ニ全然有害抵抗物ヲ突起セシメズ且主翼後緣部ノ上下振動ニ 如斯本發明、任意操舵力ニ依 本文所載ノ目的ニ於ラ本文ニ詳記シ リ操作ナシ得ルモノニシテ機構上翼 セシメタル

圖面

示

等ヲ摺動ナシ得且該軸ニ作用スル空氣力ヲ要求操舵力及軌道反力 ニ依り制御ナシ得ル二個ノ軌道ヲ以テ關連セシメタルヲ特徴トス 如ク副翼或ハ補助翼等ノ如キ可動小翼及主翼ヲ二個 .任意操舵力ニ依り操作ナシ得ル可動小翼 摺動軸及之

圖一第



